

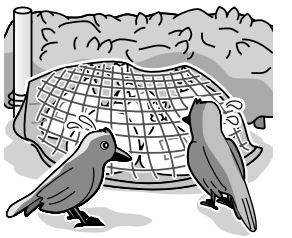
4月～6月はカラスの繁殖期です カラスにご注意ください

繁殖期のカラスは、ヒナを守るため大変警戒心が強く、近くを通りかかると人を威嚇することがあります。

市では、原則として市が所有・管理する施設に巣ができて人間に危害を加える場合に、巣を撤去するなどの対策を行います。私有地の場合は、その土地の所有者および管理者の責任で対応をお願いしています。

◆カラスの被害に遭わないために

- ①カラスがつがいや飛びまわり激しく鳴いているときは、その付近を通るのを避ける。
- ②営巣されそうな場所があったら、隠れにくく、人目につきやすいように、枝木をせん定する。
- ③ごみの減量に努め、ごみ出しの際は防鳥ネットを使う。



※営巣した場合は、その場所の所有者および管理者の責任で撤去をお願いします。また、すでに産卵しヒナがいる場合には、張り紙をして周囲の人に呼びかけるなどの対応をお願いします。

↓環境対策課 ☎内線252

■カラスに散らかされないごみ出しの工夫

近年、都市部でカラスが急激に増えた主な原因は、生ごみが豊富にあるためです。雑

食性のカラスにとって、私たちの出す生ごみは、格好の食物になります。ですから生ごみをできるだけ出さない工夫も、カラスを防ぐ一つの手段です。

- ①食品は計画的に購入する。
- ②料理を作りすぎない。
- ③食べ残さない努力をする。
- ④生ごみを堆肥化し、ガーデニングに利用する。

カラスはごみ集積所などに集まり、ごみ袋を破いて生ごみを食べ散らかします。散らかったごみはまちの美観を損ない、ごみ収集業務にも支障をきたします。ごみを出す時には防鳥ネットを利用し、カラスからごみを守る工夫をお願いします。次の点に気をつけて、防鳥ネットを効果的に使しましょう。

- ①ごみは決められた収集日

シリーズ 『環境と私たちの暮らし』⑮

「つづ」「節」「つくし」「たらの芽」など春の恵みが目覚めはじめました。もともと、私たちにとって「食」とは、自然から恵みを取り入れ、不用物を再び自然に戻すという流れの中に位置づけられるものであり、自然の循環の一環を担うものでした。しかし、現在の私たちの食生活の変化は環境へどのような影響を与えているのでしょうか。

◆「旬の食材」

「ピーマン」や「きゅうり」の旬をご存知ですか？（ピーマンは7～8月・きゅうりは6～8月です。）現在、野菜などはビニールハウスなどの施設栽培の増加や輸入により、季節や地域に関わらず手に入ることが出来ます。しかし、

食生活の変化と環境

スなどの廃棄の問題など環境への影響があります。

◆「調理や保存のための家電製品の普及は、食生活の向上や家事労働の軽減に大きく貢献しています。しかし、冷蔵庫の普及に伴い、必ずしも冷凍や冷蔵が必要ない食品までも「とりあえず冷蔵庫に入れておけば安心」と食品の収納場所として使用するようになってきています。また、賞味期限が過ぎた食品が食べられるかど

り、あるいは外食しある者は家で食事をするなど、家庭内における食形態が変化することによって、全体として無駄なエネルギーが消費されています。

また、「加工食品」「調理食品」の普及や、従来、裸で売られていた野菜なども個別に包装されて売られるために、包装廃棄物を増加させる一因となっています。

このように私たちの便利で多様な食生活は、環境へさまざまな影響を与えているだけでなく、本来、自然の恵みを一番身近に感じられるはずの食物を、あたかも自然の営みと関連の薄い「製品」のように認識させ、食生活を自然の循環の一部であることを実感しにくくさせています。

※次回は、「化学物質」です。

↓環境対策課 ☎内線252



◆順位 総合第17位・地球温

3

消費者相談 窓がら

消費者相談窓口 ☎47-9042

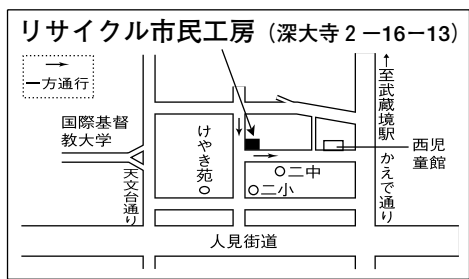
「敷金はもどらないの？」

経過変化による自然的な劣化、通常の使用による損耗。①全体のクリーニング

一人暮らしの場合、退居時に業者の主張に言い含められることもあります。親や知人に同席してもらい、できれば入居時と退去時に部屋の写真を撮っておくようにしましょう。

焼却場の定期整備などのため 武蔵野市と 可燃ごみの相互受入

5月3日(祝)
4日(日)もオープン
「リサイクル市民工房」



防犯教育を
実施しましょう

47-0119